モアイは語る――地球の未来 (2)

安田 喜憲

7 それにしても、①ラノ・ララクの石切り場から、数十トンもあるモアイをどのようにして海岸の※アフまで運んだのだろうか。石ころだらけの火山島を十キロも二十キロも運ぶには、木の※ころが必要不可欠である。モアイを台座のアフの上に立てるときでも、支柱は必要だ。

8 しかし、現在のイースター島には、オーストラリアから持ってきて最近植栽したユーカリの木以外には、森は全くなく、広大な草原が広がっているだけである。モアイが作られた時代、モアイの運搬に必要な木材は存在したのだろうか。

9 この謎を解決したのが、私たちの研究だった。私はニュージーランドのマセイ大学J・フレンリー教授と共に、イースター島の火口湖に※ボーリングをして堆積物を採取し、堆積物の中に含まれている花粉の化石を分析してみた。すると、イースター島にポリネシア人が移住した五世紀頃の土の中から、ヤシの花粉が大量に発見されたのだ。②このことは、人間が移住する前のイースター島が、ヤシの森に覆われていたことを示している。

（7～9は教科書本文における形式段落番号を表します）

※アフ…モアイが立てられた台座。　ころ…重い物を動かすときに下に敷いて転がす棒。

ボーリング…地質調査や地下資源の採取のために、地中に深く細い穴を掘ること。

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「ラノ・ララクの石切り場から……運んだのだろうか」とあるが、筆者は、モアイを運ぶためには何が必要だと考えたか。適当なものを選びなさい。

ア 石ころ　**イ** 木のころ　**ウ** 台座　**エ** 支柱

〔　　〕

(2) ――線②「このこと」とは何か。適当なものを選びなさい。

ア 筆者が、イースター島の火口湖でボーリングによる調査を行ったこと。

イ 筆者が、イースター島の堆積物に含まれる花粉の化石を分析したこと。

ウ ポリネシア人がイースター島に移住したのは、五世紀頃だと考えられること。

エ ポリネシア人が移住した頃の土の中から、大量のヤシの花粉が発見されたこと。

〔　　〕

(3) 本文の内容に合うものを二つ選びなさい。

ア 五世紀頃のイースター島は、ヤシの森に覆われていた。

イ 五世紀頃のイースター島は、ユーカリの森に覆われていた。

ウ 現在のイースター島は、ヤシの木以外には森はない。

エ 現在のイースター島は、ユーカリの木以外には森はない。

〔　　・　　〕

(4) 本文の内容に合うものを選びなさい。

ア 筆者は、イースター島は火山島で石ころだらけなので、モアイの運搬は不可能だと結論づけた。

イ 筆者は、モアイを運ぶためにイースター島に生えているユーカリの木が使われたと考えた。

ウ 花粉の化石の分析によって、モアイの運搬に必要な木材がかつて存在したことがわかった。

エ 花粉の化石の分析によって、イースター島に移住した人々はポリネシア人であると判明した。

〔　　〕